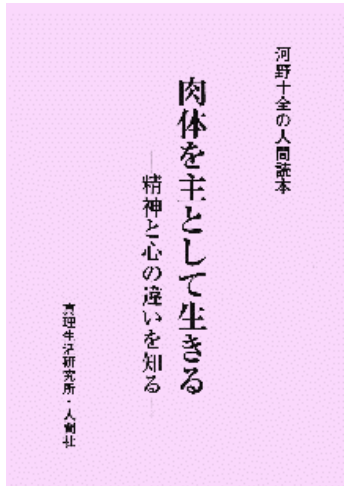


「肉体を主として生きる ―精神と心の違いを知る―」

(目次より)



本書では、肉体を主として生きていくことが、人間の本来の生き方である、ということをもとめました。何よりも、体で実践していくことが、結果を生んでいきます。心で生きるのではなく、肉体から生まれる精神で生きることの大切さをお伝えしています。

A 5判・114 ページ・1,000 円

※市販はされていませんので、ご希望の方は、「真理生活研究所・人間社」まで、ご連絡ください。

第一章 肉体について

一 肉体は小宇宙

- (1) 肉体は小宇宙であり宇宙生命の結晶身
- (2) 肉体は見えない世界を見える世界に導く

二 肉体の無限の智慧

- (1) 肉体から生まれる働き
- (2) 肉体の無限の智慧と力
- (3) 肉体の感覚

三 肉体は想像を創造する

- (1) 肉体の想像を創造する能力
- (2) 肉体が純粹であれば、一番よい結果となる
- (3) 肉体はどんな時でも善処してくれる
- (4) 肉体からは不思議な力が出る

四 肉体の細胞と神経

- (1) 細胞について
- (2) 気神経について
- (3) 感覚的運動神経

第二章 精神と心

一 精神について

二 心について

- (1) 心の乱用
- (2) 心が体を使っている間違い
- (3) 心は危険
- (4) 心の解決法

第三章 肉体が主で心が従

- (1) 肉体が主で心が従という順序は絶対
- (2) 透明な精神は純粹な肉体から
- (3) 肉体が感覚して頭脳に伝える
- (4) 肉体が健康であれば賢明・万能—的確な判断・予知など
- (5) 肉体で心を正し、心で心を制することはできない
- (6) 肉体が心を規正し、平静を保つ—記憶力・判断力・賢さを得る
- (7) 人間という小宇宙
- (8) 大きな計らいの中でのいる幸せ

▶ 「河野十全と真理生活研究所・人間社」概要

▶ 寢禪のポイントとやり方—一覧表